

令和3年度 第1回豊山町地域包括ケアシステム推進協議会書面開催
ご意見及びご質問に対する回答書

議題（1）地域包括ケアシステム構築に向けた進捗状況について

意見	コロナの関係で総合事業・介護予防事業の進展も困難を伴いますが、コロナによりフレイル高齢者は明らかに増えており、コロナ禍での対応の策が必要と思います。
質問	新型コロナウイルス感染拡大による移動・行動の抑制の効果、身体機能の低下や友人・社会とのつながりの希薄化など住民にとって様々な影響が出ています。これまで以上に各事業の実施による実態把握や各団体の活動の維持、つながりを途切れさせない取組が必要かと考えます。
回答	<p>コロナ感染拡大防止による外出自粛や介護予防教室等の中断によりフレイルの進行、孤立等を懸念しています。</p> <p>○フレイル対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度～自宅にいながら介護予防ができることを目的とした、名古屋大学連携事業「名古屋大学健康長寿シリーズ」のYouTube公開。 ・令和3年度～フレイルチェック調査実施 75歳以上の高齢者（要介護認定者を除く）に対し、フレイルや基本チェックリスト該当の有無を評価することを目的としたアンケートを実施。評価結果を個別通知し、必要な方には訪問し状況確認を実施。 <p>○実態把握やつながりを途切れさせない取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守りによる異変の早期発見、情報共有が必要と考え、今年度は民生委員との連携を強化
質問	ケーブルテレビで名古屋大学健康長寿シリーズ放送について視聴率等どれくらいの方が見ているか分かれば教えてください。
回答	ケーブルテレビの視聴率を把握する方法はありません。住民の方の声として、コロナ禍による外出減少に伴い、以前より視聴しているという声を多く聞く機会が増えました。
意見	自宅療養・家庭内感染が広がりを見せる中で、豊山町はどんな対策をとっているか。
回答	<p>町広報誌・ケーブルテレビで感染対策の注意喚起を継続しています。</p> <p>庁内にワクチン接種対策室が設置され、専任の職員が町内外の医療機関、大規模接種会場でのワクチン接種業務を実施しています。9月24日時点接種対象年齢を母数にしたワクチン接種率は1回目73.4%、2回目65.8%となっています（職域接種含む）。</p>

意見	<p>新規事業である重症化予防訪問指導について、単発で要支援者等に専門家を派遣しても費用対効果が非常に低いと思われる。実績件数も少ないが、実際の対象者の派遣目的と効果と現状について報告をお願いしたい。</p> <p>R2の実績を踏まえて、R3 予定継続についてこの事業を継続するにあたり具体的にどのような症例の重症化予防を目的とするか。</p>
回答	<p>介護支援専門員が継続した運動や栄養改善が必要と考えサービス利用を紹介しても、本人の希望がなく支援介入ができないことから重症化していく場合があります。</p> <p>そのため、作業療法士及び栄養士を自宅へ派遣し、本人機能及び生活状況の評価に基づいた適切な助言及びサービス利用紹介による行動変容の促進を目的としています。</p> <p>実際に介護サービスの利用を開始、自宅内でできる運動を開始した、栄養摂取について悩んでいた家族の不安軽減を図ったなどの変化を把握しています。</p> <p>R2 年度の利用件数実績は、介護支援専門員へ事業の普及が不足していたこと、新型コロナ蔓延による訪問を控えていた要因があると考えています。</p> <p>介護保険サービス以外の専門職の介入は、動機付け等に効果があると考え、今年度も普及を強化し継続していきます。</p>

意見	<p>[ケアマネ会の開催状況について委員より報告]</p> <p>本年度のケアマネ会は独居高齢者への支援を重点課題に挙げています。</p> <p>第1回は成年後見センターの設立及び日常生活自立支援事業の利用について成年後見センター職員へ講師を依頼し研修を行いました。第2回は自宅訪問した際、独居高齢者が倒れていた場合の対応について意見交換、課題抽出、対策を検討しました。</p> <p>また、ケアマネジャーの悩みや相談をする場として、月1回交流会を行っています。コロナウイルスの状況によって開催を中止することもあります。緊急事態宣言下の直近の交流会はオンラインで開催しました。</p>
回答	<p>豊山町ケアマネ会は平成30年1月に発足し、年々会員の皆さんのネットワーク及び意識の向上を感じています。今後も活発な活動等をしていただけるよう地域包括支援センターは後方支援を実施します。</p>

議題（２）高齢者の見守り事業について

意見	令和２年度豊山町町民意識調査結果より、高齢者行政において強化すべき取組みとして「一人暮らし高齢者の見守り活動」と選択した割合が９．３ポイント減少したことは、それだけ見守り活動を身近に感じる住民が増えた結果であると感じています。今後も調査により把握したニーズを解決する取組が必要と考えます。
回答	<p>今回調査で「一人暮らし高齢者の見守り活動」の選択をした方の割合は４６．３％であり、前回調査より９．３ポイントの減少はしていますが、強化すべき取組みとして一番高い結果でした。</p> <p>そのため、新たな取組が必要と考え、「ひとり暮らし高齢者等登録事業」の開始に至りました。新規事業のため、住民や支援関係機関の声を聞きながら、随時事業を見直し実施してきます。</p>

意見	独居高齢者５６２名に対して登録者数５７名であり、登録者の数を今後増やしていく必要があると思います。
回答	<p>独居高齢者数５６２名の全ての方に登録して頂くことが理想ですが、近隣市の例（独居高齢者のうち登録者割合１７．５％）を参考にし、初年度は５６２名×１７．５％＝９８名の登録を目標にしています。</p> <p>事業を周知するため、広報に掲載の他、４月に７５歳以上の方（１，３４９名）へフレイルチェック調査を送付した際に、「豊山町ひとり暮らし高齢者等登録事業」の案内チラシを同封しPRをしました。</p> <p>７月１９日時点の返信者８６４名の内、登録希望があった方は１３０名であり、個別に状況確認を実施し、現在７４名（内、独居４４名）の登録をしています。（備考：町は「独居高齢者」の他、住民ニーズに対応し「高齢者世帯のみ」「その他、障がいを抱える子どもと同居」の方も登録できる設定にしています）。</p> <p>事業の周知は民生委員や介護支援専門員へ依頼しています。今後も関係機関と連携し事業の周知を実施していきます。</p>

質問	見守り登録をしていない方の中には、見守りが必要な方が多いと思われる。独居高齢者の中で有病者等見守りが必要だと思われる人数等の把握はされているのか。
回答	<p>現在の町のシステムでは独居高齢者の有病者数の把握は困難です。</p> <p>独居高齢者の場合、認知症や体調不良が生じても他者から気づかれず重症化するという危険性があるため、現在は独居高齢者宅を訪問する際は治療状況や主治医などの確認や、民生委員への見守り依頼の提案を実施しています。</p> <p>登録を希望されなかった独居高齢者の方に対しては以下の対象の方を優先し電話や訪問で状況確認を実施する予定です。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイルチェック調査返信者の内、独居のフレイル該当 ・フレイルチェック調査未返信の独居高齢者
--	--

質 問	登録はされていないが独居高齢者で見守りが必要と思われる人のリスト等の作成等、具体的な見守り対応状況について教えてください
回 答	登録希望がない見守りが必要な高齢者の方は、地域包括支援センターの継続訪問対象者とし支援しますが、緊急時の異変の把握は地域の見守りが効果的と考えるため、対象者には継続して登録を勧めていきます。

質 問	豊山町の緊急通報システム事業ですが、より見守りを強化してもらえそうな仕組み作りは可能でしょうか。
回 答	<p>現在の緊急通報システムは、利用者が体調不良等の相談のため自身で専用機器によりコールセンターへ発信し、看護師や専用オペレータから状況確認の上、必要な場合は救急車要請等の支援をしています（24時間365日対応）。また、利用者は月1回コールセンターより状況確認の連絡を受けることができます。しかしながら、自ら発信できない場合やコールセンターからの連絡がない期間の対応ができない課題があります。</p> <p>現在、緊急通報システム運用の担当である高齢者・介護係と地域包括支援センターで見守りシステムの変更について検討しています。</p> <p>最近は見守りセンサーによる異変の早期発見、緊急時の駆け付け機能など、民間サービス事業所による様々な支援が増加しているため、町の高齢者ニーズに沿った利用支援体制を構築できるよう準備していきます。</p>

意 見	ケアマネジャーが緊急時に遭遇した際、手元に利用者の情報がない場合があります。ケアマネ会で自宅に保管する個人ファイルを配布している自治体があると意見がでたことから、情報共有ファイルを地域包括支援センターが中心となり作成することになりました。
回 答	町としても緊急時の情報共有等は課題でした。そのため、ケアマネ会で緊急搬送時に救急隊や搬送先の医療機関へ伝えるべき情報の整理や情報の伝え方等の検討をし、現場のニーズに沿った対応策ができたことに感謝をしています。今後、情報共有ファイルを試行し本格的な運用へ繋げていきます。

質 問	コロナ禍において見守り事業は継続して機能しているか
回 答	コロナ感染拡大防止のため接触を控えなければならない状況下において、直接的に会う見守りは困難ですが、民生委員の方には外観からできる見守り（洗濯が干したまま、外灯が日中もついたまま等）も依頼し事業を実施しています。

議題（３）権利擁護事業について

①高齢者・障害者虐待防止ネットワーク協議会設置

意見	現状で相談を受けている件数、内容、相談者について教えてください。
回答	地域包括支援センターの総合相談窓口として、令和３年度（上半期）の虐待相談件数は２件（疑いも含む）、内容は同居家族からの金銭的・精神的虐待等、相談者は本人、介護支援専門員からです。 （相談件数参考：R1 ６件、R2 ３件）

意見	コロナ禍において虐待等の相談件数は増えていますか。
回答	相談内容及び件数よりコロナ禍の影響による相談件数の増加は実感していません。 しかし、コロナ禍の様々な影響によるストレスや自宅で過ごす時間の増加から虐待のリスクは高まる懸念があるため、地域の見守りによる早期発見、虐待防止を強化する必要があると考えています。

意見	現状で対応や問題点について感じていることがあれば教えてください
回答	虐待相談件数は多くはないものの、虐待の要因が家族関係や金銭的困窮など、問題が長期的に複合化している場合は、支援が困難な場合があります。また、虐待者が何らかの障害を抱える場合は、虐待者への支援体制の構築も課題となります。そのため、他の専門職や地域団体等の多機関と連携した虐待対応が必要になると考えます。

意見	協議会が担う啓発・ネットワーク構築・防止対策は現場で対応する担当課と少なからず類似した内容が含まれるかと感じます。すみ分けをどうするのか、また現場においていかに迅速に対応し被虐待者の安全につなげられるかネットワーク構築を検討することが最も重要かと考えます。
----	--

回 答	<p>今まで担当課が実施していた検討は個別ケースであり、地域全体の高齢者や障がい者に関する虐待に対する課題等の検討はしていませんでした。</p> <p>虐待事例は複雑な問題を抱えることが多く、支援に関する専門的な判断や地域の見守りによる情報共有等が必要となります。</p> <p>今回設置した協議会は、町の虐待対応の実績や課題や、多機関の役割を共有することを目的としています。</p> <p>協議会を設置することで、個別ケースの支援時に、多機関への虐待対応及び各団体が把握した情報の共有を依頼でき、よりよい支援に繋げることを期待しています。</p>
-----	--

②成年後見センター設立

※成年後見センターに対するご意見の回答は豊山町成年後見センター職員が作成しています。

意 見	任意後見者として弁護士、司法書士等の登録もあるのでしょうか
回 答	<p>任意後見制度は、将来自分の判断能力が不十分になったときに活用するためにあらかじめ契約しておくもので、ご自分で支援してもらう人を選ぶことができます。</p> <p>この支援する人については、弁護士や司法書士に限らず、ご家族や友人といった周囲の信頼できる人に依頼することができます。</p> <p>したがって、当成年後見センターにおいて、登録はしておりません。</p>

す。

意 見	<p>豊山町でも利用件数があることから、今後も認知症高齢者の増加に伴い対象者が増えることが懸念されます。</p> <p>必要な方が成年後見センターにつながるよう今後も積極的な周知が必要と考えます。</p>
回 答	<p>成年後見制度を適切に利用していただけるよう、制度周知に努めるとともに、弁護士とも連携しながら相談に応じてまいります。</p> <p>また、成年後見センター運営協議会や受任調整会議などを通じて、法律や福祉施策の専門家、民生委員など地域の関係機関との連携についても充実に務めてまいります。</p>

意見	<ul style="list-style-type: none"> ・豊山町成年後見センター開設以降の運営状況について教えてください。 ・どのような普及活動（講演会等）を実施していますか。
回答	<p>4月に開設して以降、制度利用に関する相談、普及啓発等を実施しています。</p> <p>[主な活動実績]</p> <p>(1) 相談（8月までの実績 延件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面接・電話による相談 8件 ・弁護士による法律相談 2件 <p>※申立て支援に至った事例はありません。</p> <p>(2) 普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを作成し関係機関（民生委員児童委員協議会、ケアマネ会議、障害者支援協議会、金融機関等）に周知を図るとともに連携協力を依頼。 ・社協ホームページ、豊山社協だより等に成年後見センター事業を掲載 ・豊山町生涯学習講座「豊寿大学」において講義し制度及びセンターを普及 <p>※ 講演会の開催については、コロナ禍のため未定</p>